臨床調査個人票

\neg	新規	更新
	利力化	义利

056 ベーチェット病

1	行政	記載	欄
_	1 1	H-TX	шт

受給者番号			判定結果	認定	□ 不認定	
■ 基本情報						
姓 (かな)			名 (かな)			
姓 (漢字)			名 (漢字)			
郵便番号						
住所						
生年月日	西暦	年	Д		日 *以降、数字は右詰めで記入	
性別	□ 1. 男	□ 1. 男 □ 2. 女				
出生市区町村						
出生時氏名	姓 (かな)			名 (かな)		
(変更のある場合)	姓 (漢字)			名(漢字)		
	□ 1. あり		□ 2.なし		□ 3. 不明	
	発症者続柄					
	□ 1.父	<u> </u>	母	□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)	
	□ 5. 同胞(女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方)					
家族歴	□ 8. 祖父 (母方) □ 9. 祖母 (母方) □ 10. いとこ					
	□ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入					
	続柄					
発症年月	西暦	年	Д			

社会保障						
介護認定	□ 1. 要介護 □	2. 要支援	□ 3.な	L		
要介護度	□ 1 □ 2	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
生活状況						
移動の程度	□ 1.歩き回るのに問題はない	_ 2.	いくらか問題があ	5る		
	□ 3. 寝たきりである					
身の回りの管理	□ 1. 洗面や着替えに問題はな	<u>2.</u>	いくらか問題があ	うる		
	□ 3. 自分でできない					
ふだんの活動	□ 1. 問題はない	<u> </u>	いくらか問題があ	53		
10 /C/0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□ 3.行うことができない					
痛み/不快感	□ 1.ない □	2. 中程度ある	□ 3. ひ	どい		
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない	<u> </u>	中程度			
19/ 3-6 6/20/	□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる					
■ 診断基準に関する ³ A. 症状	事項(いずれの時期のものを用い	ても差し支えない)			
主症状						
1. 口腔粘膜の再発性	アフタ性潰瘍	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
2. 皮膚症状						
a. 結節性紅斑様皮	7 疹	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
b. 皮下の血栓性前	州 派炎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
c. 毛囊炎様皮疹、	痤瘡様皮疹	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
3. 眼症状						
a. 虹彩毛様体炎		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
b. 網膜ぶどう膜炎	(網脈絡膜炎)	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
虹彩後癒着、水	過した症状と思われる :晶体上色素沈着、網脈絡膜萎縮、 f発白内障、続発緑内障、眼球癆	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
4. 外陰部潰瘍		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		

副症状								
1. 筋骨格症状								
a. 変形や硬直を伴わない関節炎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
2. 腎・泌尿器症状								
a. 副睾丸炎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
3. 消化器症状								
a. 回盲部潰瘍で代表される消化器病変	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
b. 内視鏡で確認できる消化器病変	部位							
4. 心・循環器症状(血管病変)	,							
□ 1.あり □ 2.なし	□ 3. 不明							
	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
a. 動脈瘤	部位							
	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
b. 動脈閉塞	部位							
>//□☆/[7 #	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
c. 深部静脈血栓症 (皮下の血栓性静脈炎は含まない)	部位							
	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明					
d. 肺塞栓	部位							

5. 精神・神経症状						
a. 中等度以	以上の中枢神経病変	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
b. 急性型	髄膜炎・脳幹脳炎など	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
c. 慢性進行	行型 体幹失調・精神症状など	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	自由記載 *50 文字以内かつ3	行以内				
合併症						
B. 検査所見	*小数点も1文字として記入する	T				
皮膚の針反応	被刺激性亢進	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
血液検査						
白血球	/µL					
	末梢血白血球数の 増加(>10000/µL)	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
赤沈	mm/hr					
91.00	赤沈値の亢進	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
CRP	mg/dL					
	CRP 上昇	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	U/dL					
CH50	正常値		U/dL			
	補体価の上昇(>40 単位)	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	HLA-B51	□ 1. 陽性	□ 2. 陰性	□ 3. 不明		
HLA	HLA-A26	□ 1. 陽性	□ 2. 陰性	□ 3. 不明		
	その他の HLA クラス I タイプ					
結節性紅斑の生	上検組織像					
脂肪組織炎は	および血管病変	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		

髄液検査				
髄液細胞数	/µL	髄液 IL-6 濃度		pg/mL
頭部 MRI 画像所見				
高信号域 (T2 強調画像)	_	脳幹の 萎縮像	□ 1. あり□ 3. 不明	□ 2.なし
非発作時の視力				
裸眼(右)		矯正(右)		
裸眼(左)		矯正(左)		
C.鑑別診断(新規)				
以下の疾病を鑑別し、全て 除外できた疾病には ▽ を記え		て除外可] 2. 除外不可	□ 3. 不明
	□ 1. 多形滲出性紅斑] 2. 急性薬物中語	毒
粘膜、皮膚、眼を侵す疾患	□ 3. ライター (Reiter) 病			
口腔粘膜症状をもつ疾患	□ 1. 慢性再発性アフタ症 □ 2. Lipschutz 陰部潰瘍			
皮膚症状をもつ疾患	□ 1. 化膿性毛嚢炎 □ 2. 尋常性痤瘡 □ 3. 結節性紅斑			
- SAMERICE OF SAME	□ 4. 遊走性血栓性静脈	炎 5. 単	発性血栓性静脈炎	€ 6. Sweet 病
	□ 1. サルコイドーシス □ 2. 細菌性および真菌性眼内炎			
	□ 3. 急性網膜壊死 □ 4. サイトメガロウイルス網膜炎			
眼症状をもつ疾患	□ 5. HTLV-1 関連ぶどう膜炎□ 6. トキソプラズマ網膜炎			
成症人をもう疾患	□ 7. 結核性ぶどう膜炎 □ 8. 梅毒性ぶどう膜炎		う膜炎	
	□ 9. ヘルペス性虹彩炎 □ 10. 糖尿病性虹彩炎		彩炎	
	□ 11. HLA-B27 関連ぶどう膜炎 □ 12. 仮面症候群			
口腔粘膜症状をもつ疾患	□ 1. ヘルペスロ唇・ロ内炎(単純ヘルペスウイルス1型感染症)			
外陰部潰瘍	□ 1. 単純ヘルペスウイ	ルス2型感染症	Ĕ	
<u> </u>	□ 1. 結節性紅斑] 2. バザン硬結	生紅斑
結節性紅斑様皮疹	□ 3. サルコイドーシス] 4. スイート (S	Sweet)病 ————————————————————————————————————
関節炎症状をもつ疾患	□ 1. 関節リウマチ	□ 2. 全	身性エリテマトー	デス
	□ 3. 強皮症などの膠原病 □ 4. 痛風 □ 5. 乾癬性関節症			

消化器症状をもつ疾患	□ 1. 急性虫垂炎□ 4. 薬剤性腸炎	□ 2. 感染性腸炎□ 3. クローン病□ 5. 腸結核				
副睾丸炎をもつ疾患	□ 1. 結核					
血管系症状をもつ疾患	□ 1. 高安動脈炎 □ 3. 動脈硬化性動脈瘤	□ 2.バージャー (Buerger) 病				
中枢神経症状	□ 1. 感染症・アレルギー性の□ 2. 全身性エリテマトーデン□ 4. 血管障害□ 7. 精神疾患					
<診断のカテゴリー>						
□ 完全型:経過中に以	【下の主症状のうち4項目が出現した	きもの				
	こ以下の主症状のうち3項目が出現 副症状のうち2項目が出現したもの	したもの、あるいは 主症状のうち2項目と				
	こ主症状の 3.眼症状とその他の項 が出現したもの	目のうち1項目、あるいは副症状のうち				
□ 疑い:主症状の一部 あるいは増展		とさないもの、及び定型的な副症状が反復				
□ 特殊型:完全型又に	不全型の基準を満たし、下のいずれ	1かの病変を伴う				
	場管(型): 内視鏡で病変部位を確認	3				
1	□管(型):動脈瘤、動脈閉塞、深部	『静脈血栓症、肺塞栓のいずれかを確認				
□ 神経(型): 髄膜炎、脳幹脳炎など急激な炎症性病態を呈する急性型と体幹失調、 精神症状が緩徐に進行する慢性進行型のいずれかを確認						
□ いずれにも該当しない						
□ 1. 口腔 主症状	粘膜の再発性アフタ性潰瘍	□ 2. 皮膚症状				
3. 眼症	状	□ 4. 外陰部潰瘍				
□ 1-a. 変	形や硬直を伴わない関節炎	□ 2-a. 副睾丸炎				
副症状 3-a. 回	盲部潰瘍で代表される消化器病変	□ 4. 血管病変				
□ 5-a. 中	等度以上の中枢神経病変					

症状の概要、	、経過、符記	ナベ	き事項など(新	規甲請の際は	必須) *250 文字以	内かつ7行以内	
■ 発症と	経過						
初回認定年	三月	西	香	年	月		
生活状況			1. 就労、就学	2.家	事労働 3. 在	宅療養	4. 入院、入所
■ 治療そ	の他(最近1年	手の料	大況)				
	□ 1. あり			なし	□ 3. 不明		
	局所薬物療法		□ 1.あり □ 3.不明	□ 2.なし	全身薬物療法	□ 1. あり □ 3. 不明	□ 2.なし
	副腎皮質		□ 1.あり		□ 2.なし	3.7	不明
	ステロイド薬		プレドニゾロ 換算最大量	ン		mg/∃	
薬物療法 の有無	シクロスポリ	リン	□ 1. あり □ 3. 不明	□ 2.なし	インフリキシマブ	□ 1. あり □ 3. 不明	□ 2.なし
	アダリムマフ	Ť	□ 1. あり □ 3. 不明	□ 2.なし	コルヒチン	□ 1. あり □ 3. 不明	□ 2.なし
			□ 1.あり		□ 2.なし	3.7	不明
	その他の薬剤	- []	薬剤名				
その他の治療法(手術など)			□ 1. あり		□ 2.なし	3.7	不明
		(ビ)	治療法				

■ 重症度分	類に関す	する事項(直近6か月で最も悪い状態)			
活動状態	□ 1. ∤	活動期 2. 非活動期] 3. 固定期		
	1. S	Stage I 2. Stage II] 3. Stage III		
	4. S	Stage IV 5. Stage V			
	Ι	眼症状以外の主症状(口腔粘膜のアフタ性潰瘍、皮膚症状 みられるもの	犬、外陰部潰瘍)の		
重症度	II	Stage I の症状に眼症状として虹彩毛様体炎が加わったも 関節炎や副睾丸炎が加わったもの。	の。Stage I の症状に		
	III	網脈絡膜炎がみられるもの			
	IV	失明の可能性があるか、失明に至った網脈絡膜炎およびる 有するもの。活動性、ないし重度の後遺症を残す特殊病型 血管ベーチェット病、神経ベーチェット病)である			
	V	生命予後に危険のある特殊病型ベーチェット病である。 じべーチェット病である。			
■ 人工呼吸	と器に関す	する事項(使用者のみ記入)			
使用の有無	の有無 1. あり				
開始時期	始時期				
離脱の見込み 🗌 1. あり 🗎 2. なし					
種類		1. 気管切開孔を介した人工呼吸器			
1至天兵		2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器			
施行状況		1. 間欠的施行			
70114.NVD		3. 一日中施行			

	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助
	中間 1 C - / / 1 Hi v 2 / 1 分数)	□ 部分介助	□ 全介助
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
H-75,112,717	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能
生活状況	歩行	□ 自立	□ 軽度介助
	<i>≫</i> (1)	□ 部分介助	□ 全介助
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
医療機関名			
指定医番号			
医療機関所在地	1		
電話番号			*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名			印
			※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦	年 月 月	目
診断年月日	西暦	年	日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
- 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)を参照の上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。